

1. 科目名 (単位数)	保育者論 (2単位)	3. 科目番号	
2. 授業担当教員	吉田屋 幸子		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	現代の経済社会・生活環境の著しい変化の中で育つ子ども達の問題を見据えて、乳幼児を保育する専門家としての役割の重要性に気づき、保育者の資質を身に付けられるようにする。家庭保育や集団保育の実践と関連して学び、どちらにおいても、子どもの気持ちを受容し、子どもと共に絶えず先の方向を洞察してふるまえる自分を育てることが必要になる。現代の子どもの育ちの危機を理解し、保育者の専門性について、子ども個々のかかわりから、保護者支援、専門職間・専門機関との連携など、様々な人間関係における協働を理解する。		
8. 学習目標	1 保育者の役割と倫理について理解する。 2 保育者の制度的な位置づけを理解する。 3 保育者の専門性について考察し、理解する。 4 保育者の協働について理解する。 5 保育者の専門的成長について理解する。		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	・授業内で提示します。 ・授業内のワークシート, リフレクションシート		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】適宜、資料を配布する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 保育者の役割と倫理について理解しているか。 2. 保育者の制度的な位置づけを理解しているか。 3. 保育者の専門性について考察し、理解しているか。 ○評定の方法 授業への積極的参加態度、小課題への取り組み、レポート、小試験を適宜課し、それらを総合して評価する。 1 授業への積極的参加 総合点の 30% 2 各提出物 総合点の 30% 3 小試験 総合点の 40%		
12. 受講生へのメッセージ	保育者として子どもに向き合いかかわるとはということなかを学びましょう。 「今、どのような専門性が保育者に必要なのか」という問いについて、いっしょに考えましょう。		
13. オフィスアワー	別途、通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	保育者論とは	事前学習	自分の幼児期の体験を通して「保育者」からイメージすることを考える
		事後学習	保育者の資質について自分の考えをまとめる
第2回	保育の場とは	事前学習	保育をおこなう者の多様性について調べる
		事後学習	保育をおこなう者の多様性について理解する
第3回	さまざまな保育者たち 幼稚園教諭・保育士・保育教諭	事前学習	免許、資格要件を調べる
		事後学習	さまざまな職務内容を確認する
第4回	さまざまな保育の場に共有されるべきこと	事前学習	生命の保持・情緒の安定・子どもが主体性であることの意味について資料を読み考える
		事後学習	保育の場に共有されるべきことについてまとめ理解する
第5回	保育者の専門性と遊び	事前学習	配布資料の該当部分を読む。
		事後学習	保育者の専門性と遊びについてまとめる
第6回	保育者の専門性と環境	事前学習	配布資料の該当部分を読む。
		事後学習	保育者の専門性と環境についてまとめる
第7回	保育者の専門性と生活	事前学習	配布資料の該当部分を読む。
		事後学習	保育者の専門性と生活についてまとめる。
第8回	保育実践法 (子どもへのかかわり)	事前学習	配布資料から保育の実践事例について考える
		事後学習	実践事例のディスカッション及び振り返りをまとめる
第9回	保育実践法 (子どもへのかかわり)	事前学習	配布資料から保育の実践事例について考える
		事後学習	実践事例のディスカッション及び振り返りをまとめる
第10回	保育実践法 (保護者支援)	事前学習	配布資料から保育の実践事例について考える
		事後学習	実践事例のディスカッション及び振り返りをまとめる
第11回	保育者の専門性とは	事前学習	保育者の専門性とは何かを考える
		事後学習	ディスカッション及び振り返りをまとめる
第12回	保育士の倫理綱領とは	事前学習	全国保育士倫理綱領を読んで保育者の倫理綱領を考える
		事後学習	保育者の倫理綱領についてまとめる
第13回	保育者の専門性を高めるために 保育者インタビュー①	事前学習	保育者に質問したいことをまとめる
		事後学習	インタビューを通して考えたことをまとめる
第14回	保育者の専門性を高めるために 保育者インタビュー②	事前学習	保育者に質問したいことをまとめる
		事後学習	インタビューを通して考えたことをまとめる
第15回	これからの保育者に必要なこと	事前学習	14回の学びをまとめこれからの保育者像について考える
		事後学習	これまでの学びをまとめて提出する